

令和6年度（第62回）神奈川県高等学校総合体育大会
令和6年度（第77回）全国高等学校総合体育大会県予選会
令和6年度（第77回）関東高等学校陸上競技大会県予選会

主催 神奈川県高等学校体育連盟
(一財)神奈川県陸上競技協会
神奈川県教育委員会
後援 神奈川県新聞社

1 期 日 1 日目 令和6年5月11日（土） 9時30分 競技開始
2 日目 令和6年5月12日（日） 9時30分 競技開始
3 日目 令和6年5月18日（土） 9時30分 競技開始
4 日目 令和6年5月19日（日） 9時30分 競技開始

2 会 場 横浜市三ツ沢公園陸上競技場 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 TEL045-548-5147

3 種 目 男子 21種目 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH(1.067m/9.14m) 400mH(0.914m/35.0m)
3000mSC 5000mW 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(6.000kg) 円盤投(1.750kg) ハンマー投(6.000kg) やり投(0.800kg)
八種競技
女子 20種目 100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH(0.838m/8.50m) 400mH(0.762m/35.0m)
5000mW 4×100mR 4×400mR、走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(4.000kg) 円盤投(1.000kg) ハンマー投(4.000kg) やり投(0.600kg)
七種競技

- 4 参加資格 ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む。）に在籍する生徒であること。
②選手は、神奈川県高等学校体育連盟加盟校の生徒で神奈川県陸上競技協会の登録者であること。
③年齢は、平成17年4月2日以降に生まれたものであること。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。定時制・通信制の生徒については、4年間で3回の出場に限る。
④全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。定時制、通信制の生徒がこの大会に出場した学校は、定時制、通信制の全国大会に出場は出来ない。
⑤再編統合対象校の学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
⑥転校・転学後6カ月未満の者は出場できない。外国人留学生もこれに準ずる。但し、一家転住等やむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟陸上競技専門部長の承認があればこの限りではない。
⑦参加する選手は、在学する学校長の出場許可を必要とする。（「11 申し込み方法について参照」）
⑧参加資格の特例
ア、上記①及び②に定める生徒以外で、競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟が認めた生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ、上記③の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回限りとする。

【別途に定める規定】

- (1)学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、神奈川県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒である。
(2)以下の条件を具備すること。
①大会参加資格を認める条件
ア、神奈川県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ、参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ、各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず運営が適切であること。

②大会参加に際して守るべき条件

- ア、神奈川県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、陸上競技大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ、大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入するなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ、大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

5 出場制限 **1種目1校3名以内。リレーは、1校1チーム6名以内とする。**

同一人は3種目以内(リレー種目を除く)とする。

[外国人留学生出場の場合に関する条件]

- ア、学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学してくる生徒であること。
- イ、在籍校が、都道府県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ウ、年齢は、平成17年4月2日以降に生まれた者とする。
- エ、短期留学は除く。
- オ、人数については、男女それぞれ1校4名以内とし、1種目につき1名(リレーも含む)とする。同一人は3種目以内。ただし、リレーに参加する場合には、個人種目と合わせて4種目まで認める。

6 競技方法

- ①学校対抗とし種目別入賞は8位までとする。
- ②合計得点により、男女別の学校順位を決定する(得点は1位8点、2位7点……8位1点)。
- ③その他は、令和6年日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項による。

7 表彰

- ①学校対抗8位まで、種目別8位までを表彰する。
- ②男女別優勝校には優勝杯を贈る(但し、持ち回りとする)。
- ③男・女各1名に最優秀選手賞を贈る。

8 関東大会

本大会決勝で各種目1位～6位までに入賞した者は6月14日～17日に東京都・駒沢オリンピック公園陸上競技場(ハンマー投は大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森陸上競技場)で行われる南関東大会に出場できる。**但し、走高跳、棒高跳は6位までの入賞者6名とする。**

(但し、競歩については1～5位、混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投は1位～4位まで女子棒高跳は4名まで出場できる。)

9 地区予選会

- ① 横浜地区(横浜市三ツ沢公園競技場) 5月3日(金) 5月4日(土)
- 川崎・中地区(UvanceとどろきスタジアムbyFujitsu) 4月27日(土) 4月28日(日)
- 西地区(小田原城山競技場) 5月3日(金) 5月4日(土)
- ②各地区大会で、下記の上位入賞者は県大会の出場権を得る。
横浜地区(16名) 川崎・中地区地区(17名) 西地区(16名) 合計49名

※男女走高跳は、男子1m80、女子1m50の標準記録を突破した選手が県大会への出場権を得る。突破者が8名に満たない場合のみ各地区8名を上限に記録上位者から拾う。同順位で並んだ場合は決定戦を行う。

(注 1) シード権の行使については、別紙(顧問総会時配布)を参照のこと。

(注 2) 混成競技については事前資格審査の後、24名が直接県大会に出場できる。(資格審査の欄参照)

- 10 申込方法
- ①申込期日 4月15日(月)必着
- ②申込先
- | | | | | |
|--------|-----------|-----------------|--------------|--------|
| 横浜地区 | 〒224-0057 | 横浜市都筑区川和町2226-1 | 県立川和高等学校内 | 我那覇美穂 |
| 川崎・中地区 | 〒248-0036 | 鎌倉市手広6-4-1 | 県立深沢高等学校内 | 靱山 和範 |
| 西地区 | 〒252-0303 | 相模原市南区相模大野4-1-1 | 県立相模原中等教育学校内 | 佐良土 雪野 |
- ③申込書類 (a) 学校長の参加申込書(一覧表)
 (b) 混成競技資格審査用紙
 (c) 振り込み完了の控え(コピー可)
- ④参加料 一人1種目1000円、リレー1種目1000円を申し込みと同時に振り込むこと。
- ⑤申し込み 申込書類はすべて同封のうえ、郵送のこと。
 ※競技順序・競技注意事項等はHPにて連絡します。
※全地区WEBサイトでの申し込みとなります。
各地区で配られた別紙資料を確認してください。
- ⑥シード選手は申し込み時点までの公認最高記録を入力すること。

(注) 横浜・中・西地区の参加料は振込みで行う。

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------------------|-------------|
| (横浜) | 口座番号 | 6090323 | 横浜銀行 | いずみ野支店(328) |
| | 口座名 | | 横浜地区高体連陸上競技専門部 | |
| (川崎・中) | 口座番号 | 0205774 | かながわ信用金庫 | 大津支店(023) |
| | 口座名 | | 中地区陸上専門部 | |
| (西) | 口座番号 | 6105939 | 横浜銀行 | 愛川支店(432) |
| | 口座名 | | 高体連陸上専門部(西)委員長 小林道徳 | |

- 11 その他
- ①選手番号は令和6年度の登録番号とする。申込書類a, bの登録番号欄に記入すること。
- ②アスリートビブスは白地の布(横24cm以内×縦16cm以内)に黒字(縦6~10cm)で**登録番号**を記入したものを胸部・背部に着ける。(別紙の数字サンプル参照)
 オープンになるトラック種目については特別ナンバーカード、腰ナンバーを配布する。
- ③棒高跳用のポールは各学校持参のものを、検査を受けたうえで使用してもよい。投てき用器具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、指定時間までに個人物を検査のうえ使用出来る。検査を通った用具は競技場用具と同じ扱いとする。
- ④競技場は全天候型である。ピンの長さは9ミリ以下、ただし走高跳・やり投は12ミリ以下。走路の保全と競技者の安全のために競技規則143条を参照。
 競技用シューズの靴底については、競技規則第143条(TR5:シューズ)を守ること。
- ⑤**男三段跳は12mピット、女三段跳は9mピットを使用する。**
- ⑥**競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること**
- ⑦参加校は、補助員を2名以上必ず出席させること。
- ⑧令和5年度(第61回大会)に優勝杯を授与された学校は、5月11日(土)競技開始までに本部に返還すること。
- ⑨地区予選のプログラム編成は、4月17日(水)に各地区専門委員会で行う。
 (県大会プロ編成5月7日(水) (県立横浜国際高校 予定))
- ⑩南関東大会出場資格を得た者は、直ちに関係書類を本部にて受領のこと。
 (関東大会申し込み 5月22日(水) (県立横浜平沼高校 予定))
- ⑪競技日程は神奈川陸協のサイト内の高体連陸上競技専門部のリンクで確認できます。
- ⑫**リレー競技・混成競技を除く各種目上位8位までの入賞者はその種目に限り今年度の神奈川県高等学校新人陸上競技大会の出場権を、地区予選を経ずに得られる。**
 (県新人大会エントリー方法等については別に定める。)

《県大会競技日程》

- 第一日目 男女400m予・準・決、男1500m予・決、女1500m予、男3000mSC予
女5000mW決、男女4×100mR予
女走高跳、男棒高跳、男走幅跳、男やり投(0.800kg)、女やり投(0.600kg)、8種前半、
- 第二日目 男女100m予・準・決、男400mH(0.914m/35.0m)予・決、女400mH(0.762m/35.0m)予・決
女1500m・決、男3000mSC決、男女4×100mR決
女棒高跳、女走幅跳、男砲丸投(6.000kg)、女砲丸投(4.000kg)、8種後半、
- 第三日目 男女200m予・準・決、男女800m予・準、女3000m予、男5000m予
男5000mW決、男女4×400mR予
男走高跳、女三段跳、男円盤投(1.750kg)、女円盤投(1.000kg)、7種前半
- 第四日目 男女800m決、女3000m決、男5000m決、男110mH(1.067m/9.14m)予・準・決
女100mH予・準・決、男女4×400mR決
男三段跳、男ハンマー投(6.000kg)、女ハンマー投(4.000kg)、7種後半

混成競技の資格審査について

《混成競技標準記録》

男子 (八種)		女子 (七種)	
総合得点	4000点	総合得点	2900点
100m	12.04(11.8)	200m	28.64(28.4)
400m	54.14(54.0)	800m	2.45.00
1500m	4.55.00	100mH	18.64(18.4) ※3参照
110mH	18.04(17.8) ※1参照	走高跳	1m30
走高跳	1m60	走幅跳	4m40
走幅跳	5m90	砲丸投	7m70 ※4参照
砲丸投	8m70 ※2参照	やり投	25m00
やり投	37m00		

- ※1 1年生のみ男子110mHは中学男子110mH(0.914m/9.14m)で16.30以内の記録で申し込みができる。
 ※2 1年生のみ男子砲丸投は5.000kgで10m40以上の記録で申し込みができる。
 ※3 1年生のみ女子100mHは中学女子100mH(0.762m/8.00m)で15.60以内の記録で申し込みができる。
 ※4 1年生のみ女子砲丸投は2,712kgで10m00以上の記録で申し込みができる。

- ◆各種目の標準記録(得点)の有効期間は令和5年4月1日～令和6年4月5日までに記録した公認記録とする。1年生で四種競技の記録をもっている者はその得点を記載すること。
- ◆事前に次の順番で参加資格審査と選考を行い24名が直接県大会に出場できる。
 - ①一次審査として8種・7種ともに**総合得点をクリアした競技者**。(※印の記録は対象外)
 - ②二次審査として8種・7種ともに**3種目以上標準記録を上回る競技者**。
 - ③三次審査として8種・7種ともに**2種目の記録を得点化し、その合計得点の上位の競技者**。
(※印の記録は対象外)
 - ④四次審査として**1年生の四種競技の得点の上位の競技者**。
- ◆申し込みが24人を超えた場合は次のように選考する。
 - ①一次選考で24人を超えた場合は総合得点の上位の者から24人が県大会に出場できる。
 - ②二次選考で24人を超えた場合は標準記録を超えている3種目を得点化し、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
 - ③三次選考で24人を超えた場合は2種目の記録を得点化して、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
- ◆各種目とも標準記録をクリアした公認記録、大会名、期日を混成競技資格審査用紙に必ず記入すること。また、100m、200m、100mH、110mH、走幅跳の各種目の記録については、風力を記入すること。
- ◆走高跳は標準記録をクリアしている、していないにかかわらず記録を記入すること。
※公認記録がない場合は参考記録を記入すること。その際、記録の後に(参考)と記入。
- ◆**事前資格審査は専用の「混成競技資格審査用紙」のコピーを県立平塚江南高校 森下まで郵送(速達等)で送ること。4月1日(月)～4月6日(土)必着**
〒254-0063 平塚市諏訪町5-1 県立平塚江南高校 森下 貴文 宛
※「混成競技資格審査申請用紙は25年度に書式変更していますので必ず確認すること。
- ◆ 資格審査後、県大会出場可否の連絡をしますので、出場が確定した場合は、「混成競技資格審査用紙」の原本を申し込み書類と同封すること。

競 技 日 程

第1日 5月11日(土)

三ツ沢公園陸上競技場

9時30分競技開始

トラック競技							
順	競技開始時刻	種目	種別	招集時間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	男 100m	八種	1~3	8:55	9:10	
2	9:45	女 400m	予8組2着+8	1~4	9:10	9:25	
	10:05			5~8	9:30	9:45	
3	10:25	男 400m	予7組3着+3	1~4	9:50	10:05	
	10:45			5~7	10:10	10:25	
4	11:00	男 1500m	予4組3着+3	1~2	10:25	10:40	
	11:20			3~4	10:45	11:00	
5	11:40	女 1500m	予4組3着+3	1~2	11:05	11:20	
	12:00			3~4	11:25	11:40	
6	12:20	女 400m	準3組2着+2	1~3	11:45	12:00	
7	12:35	男 400m	準3組2着+2	1~3	12:00	12:15	
8	12:55	男 3000mSC	予4組3着+3	1~2	12:20	12:35	
	13:25			3~4	12:50	13:05	
9	14:00	女 400m	決勝		13:25	13:40	
10	14:10	男 400m	決勝		13:35	13:50	
11	14:20	女 5000mW	決勝		13:45	14:00	
12	15:05	男 400m	八種	1~3		14:55	
13	15:20	男 1500m	決勝		14:45	15:00	
14	15:40	女 4×100mR	予6組タイム	1~3	15:05	15:20	
	16:00			4~6	15:25	15:40	
15	16:20	男 4×100mR	予7組タイム	1~4	15:45	16:00	
	16:45			5~7	16:10	16:25	

跳 躍 競 技

1	10:30	男 走幅跳	八種	ABピット		10:20
2	11:00	男 棒高跳	決勝		9:30	10:00
3	11:00	女 走高跳	決勝		9:45	10:00
4	13:00	男 走幅跳	決勝	ABピット	11:45	12:00

投 て き 競 技

1	10:00	男 やり投(0.800kg)	決勝		8:45	9:00
2	12:30	男 砲丸投(6.000kg)	八種			12:20
3	14:30	女 やり投(0.600kg)	決勝		13:15	13:30

《検査時間》 男やり(0.800kg) 8:30~9:00
 八種砲丸(6.000kg) 11:30~12:00
 女やり(0.600kg) 13:00~13:30

競 技 日 程

第2日 5月12日(日) 三ッ沢公園陸上競技場

9時30分競技開始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目	種 別	招集時間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	男 110mH(1.067m/9.14m)	八種	1~3	8:55	9:10	
2	9:50	女 100m	予8組2着+8	1~4	9:15	9:30	
	10:10			5~8	9:35	9:50	
3	10:30	男 100m	予7組3着+3	1~4	9:55	10:10	
	10:50			5~7	10:15	10:30	
4	11:10	女 400mH(0.762m/35.0m)	予7組タイム	1~4	10:35	10:50	
	11:30			5~7	10:55	11:10	
5	11:50	男 400mH(0.914m/35.0m)	予7組タイム	1~4	11:15	11:30	
	12:10			5~7	11:35	11:50	
6	12:30	女 100m	準3組2着+2	1~3	11:55	12:10	
7	12:45	男 100m	準3組2着+2	1~3	12:10	12:25	
8	13:00	女 1500m	決 勝		12:25	12:40	
9	13:15	男 3000mSC	決 勝		12:40	12:55	
10	13:50	女 400mH(0.762m/35.0m)	決 勝		13:15	13:30	
11	14:00	男 400mH(0.914m/35.0m)	決 勝		13:25	13:40	
12	14:20	女 100m	決 勝		13:45	14:00	
13	14:30	男 100m	決 勝		13:55	14:10	
14	14:50	男 1500m	八種	2		14:40	
15	15:30	女 4×100mR	決 勝		14:55	15:10	
16	15:40	男 4×100mR	決 勝		15:05	15:20	
跳 躍 競 技							
1	10:30	女 棒高跳	決 勝		9:00	9:30	
2	11:00	女 走幅跳	決 勝	ABピット	9:45	10:00	
3	12:30	男 走高跳	八種	ABピット		12:20	
投 て き 競 技							
1	10:00	男 砲丸投(6.000kg)	決 勝		8:45	9:00	
2	10:30	男 やり投(0.800kg)	八種			10:20	
3	13:30	女 砲丸投(4.000kg)	決 勝		12:15	12:30	

《検査時間》 男砲丸(6.000kg) 8:30~9:00
 八種やり(0.800kg) 9:30~10:00
 女砲丸(4.000kg) 12:00~12:30

競 技 日 程

第3日 5月18日(土)

三ッ沢公園陸上競技場

9時30分競技開始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目	種 別	招集時間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	女 100mH(0.838m/8.50m)	七種	1~2	8:55	9:10	
2	9:45	女 200m	予8組2着+8	1~4	9:10	9:25	
	10:00			5~8	9:25	9:40	
3	10:15	男 200m	予7組3着+3	1~4	9:40	9:55	
	10:30			5~7	9:55	10:10	
4	10:40	女 800m	予7組3着+3	1~4	10:05	10:20	
	11:00			5~7	10:25	10:40	
5	11:15	男 800m	予7組3着+3	1~4	10:40	10:55	
	11:35			5~7	11:00	11:15	
6	11:50	女 200m	準3組2着+2	1~3	11:15	11:30	
7	12:05	男 200m	準3組2着+2	1~3	11:30	11:45	
8	12:20	女 3000m	予2組8着+8	1~2	11:45	12:00	
9	12:50	男 5000m	予2組8着+8	1~2	12:15	12:30	
10	13:30	女 800m	準3組2着+2	1~3	12:55	13:10	
11	13:50	男 800m	準3組2着+2	1~3	13:15	13:30	
12	14:10	女 200m	決 勝		13:35	13:50	
13	14:20	男 200m	決 勝		13:45	14:00	
14	14:30	女 200m	七種	1~2		14:20	
15	14:40	男 5000mW	決 勝		14:05	14:20	
16	15:20	女 4×400mR	予6組タイム	1~3	14:45	15:00	
	15:45			4~6	15:10	15:25	
17	16:10	男 4×400mR	予7組タイム	1~4	15:35	15:50	
	16:40			5~7	16:05	16:20	
跳 躍 競 技							
1	10:30	女 走高跳	七種	ABピット		10:20	
2	11:00	女 三段跳	決 勝	ABピット	9:45	10:00	
3	13:30	男 走高跳	決 勝		12:15	12:30	
投 て き 競 技							
1	10:00	男 円盤投(1.750kg)	決 勝		8:45	9:00	
2	12:50	女 砲丸投(4.000kg)	七種			12:40	
3	14:00	女 円盤投(1.000kg)	決 勝		12:45	13:00	

《検査時間》 男円盤(1.750kg) 8:30~ 9:00

七種砲丸(4.000kg) 11:50~12:20

女円盤(1.000kg) 12:30~13:00

競 技 日 程

第4日 5月19日(日)

三ッ沢公園陸上競技場

9時30分競技開始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目	種 別	招集時間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	女	100mH(0.838m/8.50m)	予7組3着+3	1~4	8:55	9:10
	9:50				5~7	9:15	9:30
2	10:10	男	110mH(1.067m/9.14m)	予7組3着+3	1~4	9:35	9:50
	10:30				5~7	9:55	10:10
3	10:50	女	800m	決 勝		10:15	10:30
4	11:00	男	800m	決 勝		10:25	10:40
5	11:40	女	100mH(0.838m/8.50m)	準3組2着+2	1~3	11:05	11:20
6	12:10	男	110mH(1.067m/9.14m)	準3組2着+2	1~3	11:35	11:50
7	12:40	女	3000m	決 勝		12:05	12:20
8	13:35	女	100mH(0.838m/8.50m)	決 勝		13:00	13:15
9	13:45	男	110mH(1.067m/9.14m)	決 勝		13:10	13:25
10	14:15	男	5000m	決 勝		13:40	13:55
11	14:50	女	800m	七種	1~2		14:40
12	15:30	女	4×400mR	決 勝		14:55	15:10
13	15:40	男	4×400mR	決 勝		15:05	15:20
跳 躍 競 技							
1	10:00	女	走幅跳	七種	ABピット	9:15	9:30
2	12:15	男	三段跳	決 勝	ABピット	11:00	11:15
投 て き 競 技							
1	10:00	男	ハンマー投(6.000kg)	決 勝		9:15	9:30
2	12:30	女	やり投(0.600kg)	七種			12:20
3	14:00	女	ハンマー投(4.000kg)	決 勝		13:15	13:30

《検査時間》 男ハンマー(6.000kg) 8:30~ 9:00
 七種やり(0.600kg) 11:30~12:00
 女ハンマー(4.000kg) 12:30~13:00

監督・選手注意事項

1. 規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場について

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12 mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則 TR5を厳守されたい。**競技用シューズの靴底については競技規則 TR5(シューズ)を適用する。**

3. 練習について

① 練習は補助競技場で行うこと。公園内・駐車場など競技場外での練習は全面禁止とする

② 競技開始前のトラック開放は9:00までとする。

③ 跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。

(棒高跳を除くフィールド競技は招集完了以前には、フィールド内に入ることはできない。混成競技のフィールド種目については、競技開始の30分前から練習できる。)

4. 招集について

① 招集は招集所(競技者係)において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。

② 招集場所は100mスタート地点付近のダッグアウト内に設ける。

③ プログラムの競技日程に記載の招集完了時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を許さない。

④ 男女棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。

⑤ 混成競技の1日目及び2日目の最初の競技についてもプログラム記載の招集時間において招集所で行う。2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技10分前、フィールド競技10分前に競技場所で行う。

⑥ 混成競技の選手控所は設けない。

⑦ 招集所では、招集時間内にチェックを受け、アスリートビブス・ユニフォーム・スパイクの点検も受ける。

⑧ 一つの種目に出場していて、他の出場種目と招集時刻が重なる場合は、招集所競技者係に申し出て了解を得る。これを怠った者は欠場とみなす。

5. アスリートビブスについて

① アスリートビブスは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して作成(男女とも白布に黒字で/他のビブス裏面利用不可)すること。アスリートビブスは2枚を胸と背につけること。ただし、跳躍競技参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。

② アスリートビブス・腰ナンバー標識の扱いについて、次の通りとする。

	100m・200m・400m・100mH 110mH・400mH・4×100mR 跳躍競技・投てき競技	800m・1500m・4×400mR	3000m・5000m・3000mSC 5000mW
アスリートビブス	登録番号を各自で用意	登録番号を各自で用意	レーンナンバーを主催者が用意
腰ナンバー標識 ※トラック競技のみ	レーンナンバーを主催者が用意 ※4×100mRは4走のみ	レーンナンバーを主催者が用意 ※4×400mRは2~4走のみ	レーンナンバーを主催者が用意

※主催者が用意した特別ナンバーカード及び腰ナンバー標識を受けとる際は各自で用意した登録番号のアスリートビブスを提示する。

③ 主催者が用意する特別ナンバーカードおよび腰ナンバー標識は、プログラムでレーンを確認した後、招集所から各自で持つこと。なお、本競技会に限り、腰ナンバー標識、特別ナンバーカードともに返却せず、各自で持ち帰ること。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。

6. トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順について

① トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

② トラック競技の準決勝・決勝の組・レーン順は本部で抽選し、記録掲示場所に掲示する。

(シードレーンは種目により異なり競技規則 TR20.4 .3.4.5 を用いる)

7. リレー競技について

① オーダー用紙(プログラム内にある)は12時以降、1組目の招集完了時刻60分前までに招集所に提出すること。

② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。

③ オーダー用紙提出後競技日程記載の招集時間に4人そろって招集を受けること。

8. 写真判定・電気計時について

トラック競技においては写真判定を採用する。

9. トラック競技の準決勝、決勝進出について

800m までの種目及びリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時1/1000 秒)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者又は代理人によって抽選する。

10. 競技方法について

① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は最後の一人になり優勝者が決定するまで、以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子走高跳	1m70～	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	2m03	2cm
男子混成	1m40～	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	3cm
女子走高跳	1m40～	1m45	1m50	1m55	1m59	1m63	1m66	1m69	1m72	2cm
女子混成	1m15～	1m20	1m23	1m26	1m29	1m32	1m35	1m38	1m41	3cm
男子棒高跳	3m50～	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	10cm
女子棒高跳	2m10～	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	10cm

② 1位及び関東大会出場を決定するためのバーの上げ・下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

③ 投てき種目の計測ラインは以下の通りである。(荒天の場合は別に指示する)

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	10m00	27m00	***	40m00
女子	7m50	21m00	***	25m00

④ 走幅跳・三段跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行い、トップ8も各ピットで行う。

※ 男子三段跳は12mピット、女子三段跳は9mピットを使用する。

⑤ 男子5000m、女子3000m、男子5000mW、女子5000mWのスタートは出場者数を確認して2グループに分けておこなう。

⑥ 競技運営上、男子5000mは18分、女子3000mは13分、男子5000mWは30分、女子5000mWは35分で最終周に入らなければ競技を中止する。但し、入賞者が確定していない場合はこの限りではない。

11. 用具について

投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。ただし承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。

(投てき用具は検査時間内に公式計測員の検査を受ける。検査時間については競技日程下段を参照のこと。)

なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

12. 入賞及び得点について

① 入賞は8位までとする。

② 得点は各種目1位8点、2位7点、……、8位1点とする。

③ 合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

13. 表彰について

① 各種目8位まで賞状を授与する。

② 各種目3位までに入賞した者は、競技終了後直ちに表彰を行うので、本部前に集合待機すること。なお、4位以降は表彰係まで賞状を取りに来ること。

③ 学校別表彰は、男女とも8位までとする。(閉会式内に表彰式を実施する)

14. 抗議・上訴について

競技規則 TR8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長への抗議を口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が 上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。

(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定確認後 30 分以内。同一日に次のラウンドが行われる種目は 15 分以内とする。)

15. 欠場について

欠場者が出た場合は、できるだけ早く競技者係に申し出ること。

16. 助力について ※その他 フィールド種目の助力についても参照のこと

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない(競技規則 TR6)ので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

17. その他

① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。

② プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。

③ 参加各校は補助員を2名以上出すこと。補助員は7:45～8:15の受付を済ませ、8:30に本部前に集合すること。

④ シート・テントを張る場所は競技場の注意事項を確認すること。

各校の横断幕、のぼり等も競技場の指定された場所以外には張らないこと。応援席にテーピング・ガムテープ等を貼らないこと。

- ⑤ 大会中は競技マナーを守ること。
- ⑥ **貴重品の管理に留意すること。(※競技場で盗難が頻発している。)**
- ⑦ 本大会決勝で各種目6位まで入賞した者(走高跳、棒高跳は6位までの入賞者6名)は、6月14日～17日に東京都・駒沢オリンピック公園陸上競技場/ハンマー投げは大井ふ頭中央公園スポーツの森陸上競技場で開催される関東高校対校陸上競技選手権大会兼全国高校対校陸上競技選手権(全国高校総体)南関東地区予選会に神奈川県代表選手として出場できる。但し、競歩は5位まで、混成競技、女子三段跳、女子ハンマー投については4位まで、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。該当選手は競技終了後直ちに本部庶務にて手続きをして書類を受領すること。
- ⑧ 南関東大会申込及び代表者会議は、5月22日(水)14:30～ 横浜平沼高校で行う。(申込は代表者会議を兼ねるため必ず顧問が出席のこと。また、申込に顧問が欠席の場合には、南関東大会への出場権を辞退したものと扱う。)
- ⑨ 本大会決勝でトラック種目(リレー種目を除く)・フィールド種目で上位8位までに入賞した者は、その種目に限り令和6年度(第66回)神奈川県高等学校新人陸上競技大会への地区予選通過の権利を得たものとする。ただし、地区予選の申し込みはするものとし、1種目1校3名以内、同一人2種目以内(リレーを除く)の出場制限は従来通りとする。本年度新人地区予選に本大会入賞種目を申し込まなかった場合、また申し込んで出場した場合は地区予選会通過の権利は失効したものとする。
- ⑩ 競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。
- ⑪ ゴミは持ち帰りを原則とする。
- ⑫ **メインスタンドでの集団応援及び競技運営に支障がでる(特にフィニッシュ地点付近)応援は慎むこと。**

競技場入場について

- ・ 常任委員会での責任抽選の結果順で午前7時30分より入場する。7時00分より整列開始。
- ・ 各校2名以内で整列し入場を行うので競技役員の指示に従うこと。
- ・ 上記の2名が別々の場所をとることは禁止とする。
- ※ 常識を逸脱した時間に生徒が集合しないように各校で責任を持つての指導をお願いします。
- ※ 競技場の開門は4日間とも7時30分(予定)とする。

☆ 安全対策について

- ・ 競技会に参加の選手、競技役員、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・ 本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
- ・ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・ トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行う。
- ・ 投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・ 投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・ チューブ、マーカー、メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。
- ・ フィールド競技ではピットに入れるのは試技を行う1名のみとする。

不正スタートについて

- ・ 不正スタートは、1回で失格とする。混成競技については2回目以降に不正スタートの競技者が失格となる。
- ・ スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられることがある。
- ・ 競技規則CR18.5の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームにイエローカード(YC)を提示し警告を与える。2回のYCを受けた競技者は、競技会から除外される。

レーン侵害による失格について (競技規則TR17.4.3/17.4.4)

(ア) レーンで行うすべてのレースの曲走路で、左側の白線や縁石に2回(2歩)以上触れた場合や1回(1歩)踏み越えた場合。

(イ) オープンで行うすべてのレース(一部セパレートのレースも含む)の曲走路で縁石の内側に2回(2歩)以上踏み込み完全に入った場合

※同一種目でラウンドをまたいだり、リレー種目の別の走者による2回目も含む。

※1回目のリザルトの当該選手の横にLマークを表示する。

フィールド種目の助力について (競技規則TR6.4.5)

- ・ 競技区域外で競技者が録画された映像を見ることが録画再生機器を手にしてもよいが、場所などは競技役員の指示に従うこと。